

―― 県総体で5人が東北大会へ出場！ ――

県高校総合
 体育大会にお
 いて、本校選



陸上で東北大会出場を決めた
 三人。右から古山さん、大内
 さん、菊地さん

手は各競技で大活躍しました。中でも陸上競技では、3000mSC 古
 山慧斗さん(3年・逢隈中出身)が5位、5000mW 大内奎吾さん(2
 年・村田二中出身)が4位、ハンマー投 菊地祐介さん(3年・逢隈
 中出身)が5位となり3名は6月15～19日に山形市で開催される東
 北大会に出場し、インターハイを狙います。

剣道で東北大会出場を決
 めた菊地さん(左)、鈴
 木さん(右)



剣道女子個人では菊地ひな美さん(3年・岩沼西中出身)と鈴木和麻さん
 (3年・塩竈一中出身)がベスト8に入り、6月23～25日に秋田市で開催され
 る東北大会に出場します。また、剣道女子団体、バスケットボール女子がベ
 スト8に入りました。弓道
 男子射道では佐々木智哉
 さん(2年・富沢中出身)が
 優秀賞を受賞しました。

東北大会に向けて
 剣道部 鈴木和麻
 県総体ベスト8
 となり、東北大会
 に出場します。イ
 ンターハイ出場を目標に今まで頑
 張って来ましたが、あと一歩及ば
 ず、インターハイを逃してしまい、
 とても悔しく思いました。東北大
 会では出場することに満足せず、
 今まで頑張ってきたことを出し切
 り、一戦一戦を大切に、良い結
 果を残せるように戦いたいです。
 応援よろしくお願ひいたします。

植樹祭に生徒91名が

ボランティア参加

5月20日、名取市下増田海岸林にクロ
 マツの苗を植える「植樹祭」(主催：名取
 市海岸林
 再生の会、
 公益社団法人オイスカ)に参加しました。



400年前の伊達政宗公の時代から私たちの生活を守ってきた海岸林の再生に携わるこ
 とで、大震災からの復興を考える北高生として、地域に関わって参ります。主催者の皆
 様、520名の参加者の皆様にたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

植樹祭に参加して

太田麻衣(3年・六郷中出身)



2月に行われた「海岸林再生プロジェ
 クト」の講演を聞いて、この活動に興味
 を持ち、参加しました。震災前、海岸に
 クロマツがあったことで、潮や海風から私たちの暮らし
 を守ってくれていた話を聞き、この活動の大切さを
 実感しました。クロマツを植える作業は、簡単そうに
 見えて難しく、周囲のリピーターの方にコツを教わり
 ながら作業を進め、当日の植樹の目標を予定より早く
 達成することができました。今回の植樹祭を通して、
 これからの社会を担って行く私たちの世代の参加が、
 もっと増えるべきだと感じました。震災前の海岸の景
 色を、20年後30年後に再び見ることができるよう、こ
 れからも積極的に参加して行きたいです。



演劇部『ストレンジ・スノウ』公演

5月26日、名取市文化会館で演劇部公演が行われました。

この作品は、
 東日本大震
 災の時に降
 った雪をモ
 チーフに作



られたオリジナル作品で、宮城県演劇コンクール2016で最優秀賞を受
 賞、今年8月に開催される全国高等学校演劇大会(宮城大会)に出場

します。今回は、宮城県高等学校文化連盟演劇専
 門部による全国大会事前研修の中で上演され、多
 くの皆様に鑑賞いただきました。上演後、専門部
 の生徒の皆様には壮行会を開いていただきました。



県演劇専門部の皆様
 からエールを受ける

う、頑張っ
 て参ります。
 の精一杯の演
 技ができるよ
 に、あと2か
 月、自分たち
 の蔭です。感
 謝の気持ち
 があつたお
 くの方のご協
 力があつた
 とができたの
 は、本当に多
 かつた劇です。
 ここまで来
 ることができ
 ました。この
 震災という難
 しい題材を扱
 った劇です。
 会になりました。
 違うメンバー
 になり、この
 大会は震災
 卒業や新入生
 の加入に伴
 いました。一
 つ上の先輩方
 を目標に練習
 を重ねてき
 ました。2月
 からは、昨
 年から全国
 大会に向けて



全国高校演劇大会に向けて
 演劇部 山田春陽
 (3年・郡山中出身)

----- 第1回学校評議員会を開催 -----

6月13日、学校評議員会で、本年度の学校経営方針等について評議員の皆様からご意見をいただきました。地域との関わりの中での人材育成や、教職員や生徒がそれぞれの個性を活かし、協力して学校を作り上げる態勢に期待を寄せていただきました。



東日本大震災の時は、多くの人が行く所、食べる物がなく途方に暮れている時、避難所という役割を果たしていただき、地元住民ろしては感謝するとともに、今後とも頼りになる存在です。卒業式や文化祭等で学校に足を運ぶ度に名取北高校の今の姿を知ることが出来ます。これからのいろいろな場面で学校を応援して行きたいと思えます。

北高は地元増田に根を張っており、私の子ども二人もお世話になりました。地元住民は北高に高い関心を持ってはいますが、学校評議員として関わるようになり、より高い誇りと期待を持つようになりました。登下校で、元気に友人と話したり、爽やかに自転車通学している姿、部活動でランニングしている姿を見ると、私たちも元気を貰います。増田海岸林での植樹祭、演劇部の舞台等をはじめ、新聞等で北高の活躍を目にするため、新聞等で北高の活躍を目にするため、たいへん嬉しい気持ちになります。OBの東北楽天イーグルス 岸孝之投手が、全校観戦した時に、「応援は人を勇気づける」という話をされ、人を思う大切さを感じる北高生らしい話だと嬉しく感じました。

山田光夫さん(南山田建設取締役会長)は地元増田にお住まいで、かつては本校PTA会長として、現在は学校評議員として、長きにわたり本校に力をお貸しいただいています。名取岩沼地区協力雇用主会会長として、社会参加の立直りを支援する等、支え合う社会づくりに活躍されています。



地元の高校を誇りに
学校評議員
山田光夫

子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰

4月23日、文部科学大臣より子供の読書活動優秀実践校の表彰を受け、先日表彰状が届けられました。図書館利用促進の活動(昇降口等の図書コーナー等)、図書委員会活動(ビブリオバトル等)、授業支援、地域機関との連携(ボランティア)等、子供の読書推進活動に対して表彰を受けました。



木口淳子教諭(左・図書視聴覚部長)、佐藤睦美主幹(右・図書)、熊澤百花さん(中・図書委員長)

図書委員会の活動
熊澤百花 (写真中
・3年・互理中出身)

図書委員会では、ビブリオバトルや読書会を主催し、イベントを通して読書に親しむきっかけづくりを行っています。読書は自分自身と向き合う活動ですが、人とのコミュニケーションを通じて読書に親しむのことも楽しい読書活動です。読書週間での広報活動では、読書をしないという生徒の皆さんに、書物を手取る機会を提供しています。また、名取市図書館でのボランティアでは、地域の子供たちと実験実技を交えて、楽しみながら読書の面白さを伝えています。これからも校内外のさまざまな取組を通じて、読書の素晴らしさを広める活動をして行きたいです。

仙南総体結果 ②

(5/20-21開催分。個人優勝のみ記名)

テニス男	団体2位/ダブルス優勝 今野未来斗(3年)・相原涼(3年), 2,3位/シングルス3位2名
テニス女	団体2位/シングルス優勝 千葉愛菜美(2年), 2位,3位(2名)/ダブルス 優勝 大内瑠菜(2年)・引地ゆい(2年), 2位, 3位(2組)
水泳	女200m個人トレー優勝 毛利るり(3年)/女100m平泳優勝 毛利るり(3年),3位/女400m自由2位/女100mバタ2位/女100m背3位/男200m自由3位/男100m背3位/女400mレー3位

仙南総体が県予選ではない(予選なしで県大会から開始する)種目のうち3位以内入賞のもの

JR名取駅でマナーアップ運動

5月16日、JR名取駅、岩沼警察署、本校PTA役員の皆様のご協力をいただき、マナーアップ運動を行いました。譲り合い等の思いやりの気持ちを大切に車内のマナーアップを呼び掛けました。



ネット被害未然防止対策講演会を開催

5月30日、岩沼警察署 千葉幸嗣警部補を講師に「SNS被害の現状と対策」について講演いただきました。実際のケースをもとに、被害者にも加害者にもならないため、ネットの向こう側に生身の人がいることを意識する大切さを学びました。



交通安全委員会が自転車点検

5月31日、交通安全委員会
が通学自転車の点検を行いました。自転車整備は交通事故ゼロのために、それぞれが日頃から関心を持ち、取り組むべきことです。今後も北高では「命を守る」ために、交通安全の呼び掛けを行って参ります。



【宮城県名取北高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail chief@natorikita.myswan.ne.jp

(担当) 教頭・町田尚彦

(学校だよりのご感想をお寄せください)

